

The Asahi Shimbun

原発事故で食品の産地を気にするようになったか

	さらに気をつけるようになった	さらに気をつけるようになった 気にするようになった	気にしていない 変わらない	気にしていない
2012年10月	23.8%	26.9	35.6	13.7
2011年9月	15.0	24.8	44.0	16.2

食品産地「気にする」5割に増加

1年前より10ポイント幅

昨年3月の福島第一原発の事故を受けて、「買ひ物のときに食品の産地を気にするようになった」という福岡県の人が、1年前より10・9ポイント増えて50・7%になったとの調査がまとまった。小学生未満の子どもがいる人や20～30代の若い世代では、6割に達する。全体の回答をみると、「気にするようになった」が23・8%で、

福岡県での調査

前年より8・8ポイント多かった。「さらに気をつけるようになった」も2・1ポイント増えて26・9%あった。意識が変わった人は半数を超え、食品の放射能汚染の心配が消えていないことをうかがわせる。

調査したジーコム生活行動研究所（福岡市）は「原発の報道が続いている影響があるのではないかとみている。調査は10月上旬、同社の登録モニターにインターネットで聞き、472人が答えた。」

（土屋亮）

朝日12.11.3